

令和2年

目黒区教育委員会

第41回定例会会議録

(令和2年12月8日開催)

第41回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年12月8日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関 根 義 孝
	教育委員会教育長職務代行者	笹 尾 敦 夫
	教育委員会委員	櫻 井 道 雄
	教育委員会委員	松 村 眞理子
	教育委員会委員	川 嶋 春 奈

出席職員	教育次長	秋 丸 俊 彦
	教育政策課長	檜 本 達 司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関 真 徳
	学校ICT課長	今 村 茂 範
	学校運営課長	濱 下 正 樹
	学校施設計画課長	岡 英 雄
	教育指導課長	竹 花 仁 志
	教育支援課長	細 野 博 司
	統括指導主事	片 山 順 也
	統括指導主事	石 邑 由紀子
	生涯学習課長	千 葉 富美子

書記	佐 藤 洋 一
	森 高 健二郎

(議事日程)

日程第 1	報告事項	令和 2 年度目黒区一般会計補正予算 (第 4 号) について
日程第 2	報告事項	令和 3 年度隣接中学校希望入学制度の申込結果について
日程第 3	報告事項	区立小学校における新型コロナウイルス感染症の発生について (1 1 月 3 0 日時点)
日程第 4	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について

資料配布

- ・ 令和 3 年度当初予算予算編成過程の公表 (予算要求時) (抜粋)

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和2年第41回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、笹尾委員
です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和2年度目黒区一般会計補正予算(第4号)について(報告事
項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 令和3年度隣接中学校希望入学制度の申込結果について(報告事
項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
○委員 アンケートの結果を確認でき、今後の参考になりました。
説明にありました「自宅からの距離」や「友人関係」などの理由
が多いのであれば、現在の学区域を見直す必要があるのではない
かと思いました。
また、理由の4番目に「生徒数」を挙げていましたが、これは生
徒数が多い学校に行きたいということなのか、それとも少ない学
校に行きたいということなのか、教えてください。
○説明員 これまで実施したアンケートでも、「自宅が近い」や「友人関係」
などを理由として隣接する学校を希望する方が多い傾向がありま
す。
また、現在は休止中の小学校隣接希望入学制度により、今回の対
象者が既に学区域外の小学校を選択し通学しているため、中学校
を選択する際には、在籍する小学校で友人関係ができたことから、
友人が通う中学校を希望する方が多い傾向があります。
現在、学区域の見直しは考えていませんが、学区域の指定校より
隣接する学区域の指定校のほうが位置的に近い方は一定数いるこ

とから、そのような状況の方のご意見と受け止めております。

2点目の生徒数により選んだ旨のアンケート結果ですが、生徒数が多い理由、生徒数が少ない理由、どちらの理由もあると考えております。「指定校の生徒数が多いから他の学校を希望する」が4番目に多い理由ですが、少人数できめ細かな対応を希望する理由により小規模の学校を選ばれる方もいると考えてございます。

○委員 私も他の委員と同じことを考えていました。小学校と中学校の学区域の考え方は、どうなっているのでしょうか。

○説明員 本制度の利用率は、中学校では17%台、小学校では10%未満で推移していますが、小学校は自宅近くの指定校に通う方が多く、中学校では友人関係や施設面、学校の教育方針などを参考に選択する考えが反映されたものと認識しております。小学校と中学校の学区域については、小学校は子どもたちが安全に通える範囲ということで本区独自の「住区」という単位で定着しており、中学校は小学校の規模等を踏まえ、一定の範囲で包括する形で中学校の学区域を指定しています。学区域を見直すことは、子どもたちや地域にも大きな影響を与えますので、事務局としては現状を踏まえ、本制度などを有効に活用してまいり所存です。

○委員 私も、目黒区の中学校をより魅力的な学校にするため尽力しているところですが、この制度が学校の魅力づくりを行う上で、どのように寄与しているのか事務局の見解を教えてください。

○説明員 今回実施したアンケート結果により、生徒やその保護者がどのような理由で学校を選択しているのかを改めて確認できたことは成果と考えています。その中で、中学校の魅力づくりとの関係性ですが、各学校は工夫を凝らして教育活動に取り組み、また地域の力も借りながらそれぞれ魅力の発信に努めているところですが、希望する中学校の魅力により本制度に申し込む方が一定程度いること、各学校も本制度があることによって、更なる魅力づくりを実践するきっかけとなっていることなど、本制度は区立中学校全体の魅力向上につながる施策であると考えています。

○委員 各校の学力差が希望理由になる場合もあると考えています。各校の学力差については、区民の関心事でもありますし、各校の学力差を埋めることは、各校の魅力づくりにも寄与すると思いますので、このことを課題として認識していただきたいです。

○説明員 今回アンケートを実施しましたので、各校長にはこの結果をフィードバックし、学力などの課題や各校の強みを認識させ、より魅

力的な学校づくりを進めるための材料としてもらいたいと考えています。また、事務局としてもこの結果を踏まえ、学校への支援を工夫してまいります。

○委員

先ほど、この制度により学校を選択した理由を説明されていましたが、「自宅からの距離」という利便性の理由と、「教育方針」や「校舎・設備」など、学校のそれぞれの特徴の理由と内容が2つに分かれていましたので、今後それぞれについて改善を検討していただきたいと思います。

大鳥中学校についてですが、受入人数枠の15名に対して38名の希望があり、希望者が受入人数枠を超えているのですが、学校全体の生徒数の増減を見ると、出が42名いるため、減少となっています。そうすると、全ての希望者を受け入れたにもかかわらず、学校全体の生徒数が増加しない場合においても、受入人数枠を超えたときは、抽選を行うこととなりますので、学校全体の生徒数が減少する場合に限り、受入人数枠に関係なく受入れを行うなどの柔軟な対応が必要だと思うのですが、いかがでしょうか。

○説明員

1点目のアンケートの内容ですが、今回試行という位置付けで実施しましたので、これまでのアンケート項目や結果、委員のご意見なども踏まえまして、内容を精査をした上で、本アンケートが有効な取組となるよう検討してまいります。

次に、2点目の大鳥中学校の抽選に関してですが、今回受入人数枠を15名とさせていただきました。これは、その学年の地域の子どもの人数や、学校の普通教室に使える教室数を勘案し、校長と協議の上で算定した人数となります。指定校は、その学区域の子どもを受け入れることが大前提となりますが、年度ごとに指定校の地域の学齢児童数は変動しますので、各校の受入れ人数算定に当たっては、その都度、当該地域の学齢児童数から入学者数を予想して受入人数を算定しています。

委員のご指摘のとおり、申込時点では大鳥中学校から他校を希望する者が42名おりますが、これは現時点での申込者数であり、今後、申込みを辞退して指定校へ戻る者もいます。一方、大鳥中学校へ入学を希望する申込者についても、今後、国・公・私立学校への進学により希望の辞退が例年発生いたします。また、指定校を希望する者も、国・公・私立学校への進学が決まれば入学予定者数が変わってきます。今後、状況が大きく変動することが予想され、現時点では状況が流動的であることから、抽選を行っているもので

ございます。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第3を議題とします。

（日程第3 区立小学校における新型コロナウイルス感染症の発生について
 （11月30日時点）（報告事項））

- 説明員 （資料により説明）
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第4を議題とします。

（日程第4 教育委員会名義の使用承認状況について（報告事項））

- 説明員 （資料により説明）
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
 ・令和3年度当初予算予算編成過程の公表（予算要求時）（抜粋） 〕

- 教育長 その他なにかございますか。
 以上で本日の定例会を閉会します。

（午前10時17分閉会）